

# JR連合2017春季生活闘争 グループ労組連絡会FAXニュース No.24

2017年 5月 8日

日本鉄道労働組合連合会

## JR東海・西日本・貨物連合の10単組が妥結

2017春季生活闘争の取り組みにおいて、JR東海連合・JR西日本連合・JR貨物連合の10単組が交渉を妥結した。今回妥結が確認できたのは、後藤工業労組（3月28日）、NESCO労組（4月26日）、新幹線メンテナンス東海労組・西日本電気テック労組・ホテルグランヴィア大阪労組（4月27日）、JR東海バスユニオン・JR東海物流労組・JR西日本伊勢丹労組・ホテルグランヴィア広島労組・南関東ロジスティクス労組（4月28日）となっている。

### 後藤工業労組【3月28日妥結】

- ・ 定期昇給の実施
- ・ 年間臨給 5.1ヵ月
- ・ 諸手当の新設（積雪屋外手当）
- ・ 増収補助金の支給率見直し
- ・ 福利厚生制度の改善（インフルエンザ予防接種補助【対象者拡大】）

### NESCO労組【4月26日妥結】

- ・ 定期昇給の実施
- ・ 夏季手当 2.7ヵ月
- ・ 年度末手当 社員 30,000円

### 新幹線メンテナンス東海労組【4月27日妥結】

- ・ 定期昇給の実施
- ・ 日給引き上げ 90円（60歳未満の準社員）
- ・ 夏季手当
  - 社員 2.50ヵ月+30,000円
  - 準社員 勤続1年以上2年未満 150,000円+30,000円
  - 勤続2年以上 160,000円+30,000円

**西日本電気テック労組【4月27日妥結】**

- ・ 定期昇給の実施 2,476 円
- ・ 夏季手当 2.65 ヶ月
- ・ 契約社員の臨時手当（所定労働日数及び時間による）  
社員と同等 50,000 円 [優秀者 20,000 円加算]  
6 ヶ月平均で15日以上かつ720時間以上 30,000 円 [優秀者 20,000 円加算]
- ・ 新規採用で資格取得して入社した者への一時金  
第一種電気工事士 20,000 円  
第二種電気工事士 10,000 円

**ホテルグランヴィア大阪労組【4月27日妥結】**

- ・ 定期昇給の実施 2,271 円
- ・ ベースアップ 200 円
- ・ 夏季手当 2.05 ヶ月
- ・ 年休取得の促進（休日取得モデルに年5日を組み込み）
- ・ 労働時間管理の徹底（新卒採用枠の拡大、要員予備率の見直し）
- ・ 育児・介護制度の改善（看護・介護休暇の半日単位での取得）
- ・ 妊娠・出産に関するハラスメントの防止

**JR東海バスユニオン【4月28日妥結】**

- ・ 定期昇給の実施 実施
- ・ ベースアップ 200 円
- ・ 夏季手当 2.7 ヶ月

**JR東海物流労組【4月28日妥結】**

- ・ 定期昇給の実施 3,191 円
- ・ ベースアップ 500 円
- ・ 時給引き上げ 10 円（契約社員、パート社員）
- ・ 夏季手当  
社員 2.65 ヶ月  
契約社員 110,000 円  
パート社員 6,000 円
- ・ 保存休暇の新設
- ・ 慶弔見舞金の見直し（出産祝金）

**JR西日本伊勢丹労組【4月28日妥結】**

- ・ 定期昇給の実施 5,626 円
- ・ 時給引き上げ 平均 11.67 円 [1.15%]（フェロー社員）
- ・ 年間臨給 2.5 ヶ月
- ・ 一時金の支給 0.4 ヶ月（京都店 20 周年、営業力と生産性向上への積極的な取り組みに期待）
- ・ 期末手当制度の見直し（2017 年度末までに実施）

- ・ 育児制度の改善（在籍期間中の育児休職と育児勤務の合計最長期間を10年【但し、原則毎月4回以上の遅番勤務を条件に子が小学校に就学した直後の9月末まで延長可能】）

#### ホテルグランヴィア広島労組【4月28日妥結】

- ・ 定期昇給の実施
- ・ ベースアップ 500円
- ・ 55歳以降の賃金制度見直しを継続協議

#### 南関東ロジスティクス労組【4月28日妥結】

- ・ 基本給の引き上げ
 

55歳未満	2,000円
(定昇相当込み)	55歳以上 1,000円
	60歳以上 500円
	嘱託社員 500円
- ・ 夏季手当 1.35ヵ月

## 4月末までの進捗状況と今後の取り組み

要求申し入れ	85単組（進捗率92.4%）
妥結	52単組（同 61.2%）
ベースアップ回答	30単組

JRグループ労組連絡会に加盟する92単組のうち、4月末までに85単組で要求を申し入れ、52単組が交渉を妥結している。また、妥結した単組のうち、ベースアップ回答を引き出したのは30単組にのぼり、グループ労組における賃上げの流れは依然として継続している。さらに、ベースアップ以外にも一時金や諸手当・制度の改善等の成果も確認していることから、JRグループ労組連絡会では各単組における粘り強い取り組みが成果につながっているものと分析している。

しかし、現在も交渉している33単組や進捗状況が不明な単組もあることから、すべての加盟単組の解決にむけて、JRグループ労組連絡会は各エリア連合や加盟単組と連携して、情報提供等の支援活動を継続していく。

以上